

お申込みからご参加までの流れ

1 申込フォームからエントリー【受付期間 令和元年6月13日(木)～7月19日(金)】

- お申込みは、大学コンソーシアム八王子Webサイトより申込フォームにアクセスし、必要事項を入力の上送信してください。 URL: <https://www.gakuen-hachioji.jp/>
- 先着順にて受け付けいたします。
- 受付期間終了後、空きがある場合は引き続きお申込みを受け付けいたします。
- 申込フォームより送信後、入力された「申込者メールアドレス」宛に、申込受付メールを自動返信いたします。(※申込受付メールが届かない場合は、再送信せずに事務局までメールで団体名・申込者氏名・届かない旨をご連絡ください。)



2 参加費のお支払い【お支払期限 令和元年7月31日(水)】

- お申込みの確認がとれ次第、払込票をお送りいたします。
- 期限までに払込票に記載のあるコンビニエンスストアでお支払いください。
- 銀行などの金融機関ではお支払いができませんのでご注意ください。
- 大学コンソーシアム八王子加盟団体・学生の方で情報交換会に参加しない場合は、払込票はお送りしません。
- お支払い後は、理由のいかんを問わず返金等には応じられませんのでご了承ください。

参加費(1名あたり)

所属	フォーラム参加費	情報交換会費
大学コンソーシアム八王子加盟団体・学生全般	無料	4,000円
非加盟団体	1,000円	4,000円

3 参加証の受領【令和元年8月9日(金)まで】

- 参加費の入金が確認できましたら参加証をメールにてお送りいたします。
- 参加費無料の方につきましても、同期間までに参加証をメールにてお送りいたします。

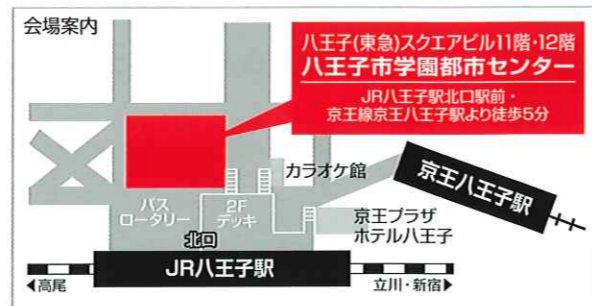
4 参加証の持参

- プリントアウトした参加証を開催当日、受付にて提示願います。

■お問合せ

大学コンソーシアム八王子事務局

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子(東急)スクエアビル11階
TEL:042(646)5740 FAX:042(646)2663
E-mail: entry_3@gakuen-hachioji.jp
<https://www.gakuen-hachioji.jp/>



FD・SD事業は、FD・SD専門委員会が企画・運営しています

●委員長 杉原 明(工学院大学) ●副委員長 岩清水 貴嗣(東京薬科大学) ●副委員長 望月 雅光(創価大学) ●相談役 前原 征司(明星大学) / 松嶋 めぐみ(工学院大学) / 二上 武生(工学院大学) / 清水 みさ子(杏林大学) / 西田 哲史(創価大学) / 小林 光義(創価大学) / 野本 聡(東京薬科大学) / 山崎 恭兵(東京薬科大学) / 新谷 尚之(首都大学東京) / 杉山 真弓(東京家政学院大学) / 鳥居 聖(桜美林大学)

2040年の高等教育をデザインする

—生涯学び続ける学修者を育成するために—

主催：大学コンソーシアム八王子 共催：八王子市 後援：文部科学省

協力：HACHIOJI 公益社団法人八王子観光コンベンション協会
Hachioji Visitors & Convention Association

高尾山と人をむすぶ 高尾登山電鉄

開催趣旨

中央教育審議会の答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」においては、高等教育が目指すべき姿として「学修者本位の教育への転換」が掲げられ、多様な学修者のニーズに応えることが求められています。

今回のフォーラムは、今まで日本の高等教育では活発でなかったリカレント教育にも焦点をあてながら、「学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟なしくみと流動性」の実現に向けたテーマ設定としました。

初日の基調講演およびパネルディスカッションは、「生涯学び続ける学修者のための高等教育」をテーマに、人生100年時代における学びを大学等が担うために何が必要かを、参加者が登壇者とともに考える場とします。

2日目の分科会は、多様な学生・教職員で構成される今後の大学等において重要な課題となるテーマを厳選し、参加者が所属機関に持ち帰り実践できるよう、ワークショップ形式を中心に実施します。

高等教育全体の将来のさらなる発展に向け、本フォーラムを大学関係者の叡智を集める場にしたいと思います。



「八王子凧物ネクタイ」
八王子市/CC BY2.1



「花火大会」
八王子市/CC BY2.1



「八王子まつり」
八王子市/CC BY2.1

日時 令和元年 8/22(木)・23(金) 2日間開催 ※詳細は2～3ページをご覧ください

8/22(木)

13:00～17:10 基調講演・パネルディスカッション

18:30～20:00 情報交換会

※シャトルバス、ケーブルカーにて移動
17:30 フォーラム会場発
21:00頃 八王子駅北口にて解散

8/23(金)

9:30～16:00 分科会(ワークショップ)

会場

八王子市学園都市センター イベントホール等
〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子(東急)スクエアビル11階・12階

対象

- 大学コンソーシアム八王子加盟団体及び全国の大学教職員・学生
- 企業関係者 ●NPO法人関係者 ●中等教育機関関係者
- 八王子市役所職員

※大学コンソーシアム八王子加盟校の教職員・学生を優先とさせていただきます。



8/22(木) ■ 基調講演・パネルディスカッション

開催時間 13:00～17:10 会場 学園都市センター 12階 イベントホール

2040年に向けた高等教育の グランドデザインとリカレント教育の推進

昨年11月に中央教育審議会で取りまとめられた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」では、多様で柔軟な教育研究体制の確保のため、学修成果の可視化の促進や教育の質保証システムを確立するといった、これからの高等教育の在り方が提言され、その中で併せて18歳人口の減少を見据えて、社会人、留学生を積極的に受け入れることが各機関に期待されています。今回の講演では、本答申の紹介とこれからの時代におけるリカレント教育の重要性や、その充実・拡大に向けて高等教育機関に期待される役割について議論したいと思います。

■講師 平野 博紀氏 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長
2002年早稲田大学政治経済学部卒業、2010年政策研究大学院大学修士課程修了。2002年文部科学省入省。高知県教育委員会生涯学習課長、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課課長補佐、スポーツ庁競技スポーツ課課長補佐を経て2017年7月より文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長。



人生100年時代の ライフキャリアを考える — 大学教育に期待される新たな役割 —

人生100年時代の到来は、ひとの生き方・働き方を大きく変えようとしています。教育・仕事・引退という3ステージの生き方から、マルチステージへの一大変化が訪れる、といわれています。では、具体的に社会にはどのような変化が訪れるのか。個人にとって重要になる能力や資質は、どのように変わるのか。そして、大学教育への期待は、どのようなものへとシフトしていくのか。近未来の姿を提示します。

■講師 豊田 義博氏 株式会社リクルート リクルートワークス研究所 主幹研究員
ライフシフト・ジャパン株式会社 取締役CRO/ライフシフト研究所所長
1983年東京大学理学部卒業後、リクルートに入社。就職ジャーナル、リクルートブック、Worksの編集長を経て、現在は研究員として、20代の就業実態・キャリア観・仕事観、新卒採用・就活、大学時代の経験・学習などの調査研究に携わる。2017年ライフシフト・ジャパン株式会社起業時より経営に参画。著書に「なぜ若手社員は「指示待ち」を選ぶのか?」(PHPビジネス新書)、「若手社員が育たない。」「就活エリート」の迷走」(以上ちくま新書)、「「上司」不要論。」(東洋経済新報社)、「新卒無業。」(共著 東洋経済新報社)などがある。

パネルディスカッション 生涯学び続ける学修者のための高等教育

「学び続ける社会人」と「学ばない社会人」は何が違うのか。— 3,000人の学び手のライフヒストリーから —

「ビジネスマンが世界一学ばない国ニッポン」。昨年発行した社会人大学院情報誌では、このようなカバータイトルをつけました。領域を越え多様な立場の人々と豊かに学び続ける方々がいらっしやる一方で、多くの職場やコミュニティで彼ら彼女らは「少数派」にとどまり、過半数の社会人は主体的な学修実施を行っていません。両者の違いは何か?多くの事例に触れてきた経験を通じ、費用よりも時間よりも決定的なその要因をお話したいと思います。

■講師 乾 喜一郎氏 「スタディサプリ社会人大学・大学院」編集デスク/白百合女子大学非常勤講師
東京大学教養学部卒業、長年キャリア情報誌の編集に携わり、2006年ケイコとマナブックスシリーズ編集長に就任。以来、社会人学生や資格取得者など3,000名以上の社会人学習者のライフヒストリーを取り上げ続けている。職業実践力育成プログラム(BP)の創設など各種社会人関連施策の検討に有識者委員として参加、学習者の立場から発言を続けている。2019年〜リクルート進学総研主任研究員(社会人領域)。



日本女子大学リカレント教育課程の今 — 人生100年時代の学び —

日本女子大学は、結婚や出産によって離職を余儀なくされた能力の高い女性を再教育し、社会で再び活躍させるという構想のもと、2007年にリカレント教育をスタートさせました。2018年度は、政府が女性の社会参加をさらに促すためにリカレント教育に力を入れることを宣言し、リカレント元年と呼ばれましたが、まだまだ認知されていないのが現実です。リカレント教育の先駆けとして、これまでの12年の歩みと今後の課題についてお話します。

■講師 坂本 清恵氏 日本女子大学生涯学習センター所長(文学部教授)
1987年早稲田大学大学院文学研究科博士課程後期満期退学・1998年博士(文学)、早稲田大学演劇博物館助手、埼玉女子短期大学、玉川大学文学部助教授を経て、2006年から日本女子大学文学部日本文学科教授。2015年度リカレント教育課程主任、2016年から生涯学習センター所長。日本語学を専門とし、リカレント教育課程では、日本語コミュニケーション論を担当。



〈パネリスト〉

- 平野 博紀氏 文部科学省 高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長
- 坂本 清恵氏 日本女子大学生涯学習センター所長(文学部教授)
- 豊田 義博氏 株式会社リクルート リクルートワークス研究所 主幹研究員
- 乾 喜一郎氏 「スタディサプリ社会人大学・大学院」編集デスク
- ライフシフト・ジャパン株式会社 取締役CRO/ライフシフト研究所所長
- 白百合女子大学非常勤講師

情報交換会 (公社)八王子観光コンベンション協会では、大学や先端産業企業の集積、高尾山等の観光資源などの強みを活かし、MICE(多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称)の誘致に取り組んでいます。その一環として、高尾登山電鉄株式会社の協力のもと情報交換会を高尾山にて開催いたします。

- 内容: 講師・参加者の交流 出展者紹介
 - 日時: 8月22日(木) 18:30~20:00
(17:30八王子(東急)スクエアビル前出発 21:00JR八王子駅北口にて解散)
 - 会場: 高尾山ビアマウント
 - 会費: 4,000円(往復のバス、ケーブルカー代含む)
- ※本情報交換会に関わる現地までの移動手段は、
有限会社さかやツアーリスト(東京都知事登録旅行業3-3943)が手配いたします。



「高尾山ビアマウント」八王子市/CC BY2.1



「秋の高尾山」八王子市/CC BY2.1

8/23(金) ■ 分科会(ワークショップ)

開催時間 9:30～16:00 会場 学園都市センター 各セミナー室等

第1分科会 生涯学び続ける者を 受け入れられる大学とは?

■対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者
大学は本当に生涯学習の担い手となりうるのでしょうか。本分科会では、第1日目を受け、ミニレクチャーとワークを組み合わせながら、生涯学び続ける学習者に必要な受入条件と現在の大学が抱える課題について、みなさんの立場・経験を共有しながら考えていきます。どなたでも参加できますが、特に大学教職員の方は、所属機関の状況について予め調べてから参加いただくと、より現実に即した検討ができるかと思えます。

■講師 稲永 由紀氏 筑波大学 大学研究センター 専任講師
九州大学大学院教育学研究科博士後期課程を単位修得退学のうち、九州大学教育学部助手、広島大学高等教育研究開発センター助手、香川大学大学教育開発センター専任講師を経て、2005年より現職。専門は教育社会学、高等教育論、地域・社会との関係からみた高等教育の機能に関心を持ち、短期高等教育、職業教育、継続教育まで射程に入れながら、研究を進めている。現在、日本高等教育学会理事、日本インターンシップ学会理事。近著に「非大学型高等教育を担う教員と教育組織」(編著) 広島大学高等教育研究開発センター(2018)。

第3分科会 若手教職員と学生で考える 「大学職員の仕事」

■対象者 大学職員・学生
大学運営における大学職員の役割や仕事の実態は学生にはあまり知られておらず、学生と職員の交流の場も極めて限られています。本分科会ではさまざまな大学の若手職員と学生の意見交換の場とし、職員は学生の意見を業務や大学運営の改善のヒントに、学生は大学や大学職員への要望や疑問を伝えていただくとともに、大学職員の仕事に興味を持っていただくきっかけになればと思います。

■ファシリテーター 大学コンソーシアム八王子 FDSD専門委員会委員

第5分科会 留学生の受入れと支援 — 変わり続ける現場から 留学生担当教職員の懇談会 —

■対象者 大学教員・大学職員
ポスト留学生30万人計画を見据えた留学生政策が示される中、大学は留学生交流の推進や充実した支援体制の構築が求められています。この分科会では、大学コンソーシアム八王子「留学生対策ワーキンググループ」参画メンバーの大学から、留学生の受入れや支援についての事例をご紹介します。後半はワークショップ形式でそれぞれの現場における取組や苦労を共有し、参加者の課題解決につなげていきます。留学生支援の担当または関心のある教職員の参加をお待ちしています。

■ファシリテーター 佐藤 麻衣子氏 首都大学東京 国際課 留学生交流係長
民間企業、研究機関の勤務を経て2009年に公立大学法人首都大学東京へ入職。FD、教育制度企画、大学評価、IR室設置、学部設置申請等を担当し、現在は留学生の受入れ・派遣の支援、海外プロモーション等に取り組んでいる。現在、大学コンソーシアム八王子留学生対策ワーキンググループ委員。

第2分科会 FD入門 — 新任教員や大学教員を 目指す方のために —

■対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者・学生
大学教員になって3年程度の方、将来的に大学教員を目指す大学院生や社会人の方を対象にしたFD研修です。まず、今後の大学改革の方向性、大きな変革が予想されるSociety5.0に向けた大学教育の対応など、大学の状況を概観します。それを踏まえて、授業改善をどの様に進めていくのかを参加者と一緒に考えていきます。また、現在、授業運営に関して困っていることがあれば、その内容を共有し、その改善方法も検討する予定です。

■講師 望月 雅光氏 創価大学 経営学部教授 教育・学習支援センター長
1996年九州工業大学大学院博士課程修了、博士(情報工学) 九州工業大学情報科学センター助手を経て、2002年より創価大学。教務部副部長、教育・学習支援センター副センター長を経て、現職。大学コンソーシアム八王子FD・SD専門委員会の立ち上げも行った。現在の専門は、教育学。

第4分科会 大学における働き方について 考える

■対象者 大学教員・大学職員・企業関係者・NPO法人関係者・中等教育機関関係者
本年4月から働き方改革関連法の一部が施行され、教職員の職場環境においても変化が求められるようになりました。働き方改革を通じて健康で活力ある職場を作ることが、大学の教育研究力や経営力を向上させるための不可欠な要件であるとの理解のもと、先進的な企業や大学の取組に学ぶことで各大学の実践の一助としたいと考えています。

■講師 吉武 博通氏 公立大学法人首都大学東京理事・筑波大学名誉教授
1977年新日本製鉄株式会社入社、総務部組織室長、総務部総務・組織グループリーダー、光製鉄所総務部長などを経て、2003年筑波大学社会学系教授、2004年学長特別補佐、2006年理事・副学長、2009年大学院ビジネス科学研究科教授・大学研究センター長、2017年より現職。お茶の水女子大学監事、東北大学及び東京学芸大学経営協議会委員、大学改革支援・学位授与機構客員教授などを兼任。2005年リクルートより「カレッジマネジメント」に「大学を強くする」を連載中。



■フォーラムの参加について■

8/22(木)もしくは8/23(金)
いずれか一方のみの参加も可能です。